



2015 年度活動報告書

発行:2016年6月

公益財団法人大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

2011年3月11日に東北地方から東日本にかけての広域で起きた「東日本大震災」。地震の規模が大きかっただけでなく、震源が海底であったため地震による破壊に続く大津波の襲来により引き起こされた被害は想像を絶するものでした。そして、人々からいろいろなものを奪ったのは、大自然の脅威だけではありませんでした。福島第一原子力発電所の事故によりさらに多くのものが奪われ、5年経った今も人々の苦しみが和らぐことはなく、むしろ困難が大きくなり苦しみは深くなっているようです。

私たち大阪YWCAは小さな女性だけの組織で、力もなければ資金も潤沢にはない中、地震直後からできることを探しながら活動を続けています。2015年度は、当初から毎年行っている保養プログラム「大阪わいわいステイ」を中心に活動を行いました。保養プログラムは、福島の子どもたちに少しでも放射線の影響下から離れてもらいたい、屋外で思いっきりのびのびと遊んでもらいたいとの思いから、全国のYWCAの仲間がそれぞれの地域で協力しながら実施しています。

東日本大震災の被災者支援活動がまだまだ続く中、4月14日・16日に九州で再び大きな地震が起きました。熊本・大分の被害はひどく、止まない余震に怯える人々の様子が伝わってきます。一人の力は小さく弱くても、たくさんの力が合わされば大きくて強くなるはずと信じて、被災された方々に寄り添う活動を続けて行きたいと願っています。

2016.5.11

大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

津戸 真弓



■大阪わいわいステイプログラム

被災地の子どもたちに外で思い切り遊んでもらいたい。そんな思いからはじまった「大阪わいわいステイプログラム」も今年で5年目となりました。真夏の大阪に10名の子どもたちを招待し、キャンプに大阪観光など、楽しいプログラムを満喫しました。

◇スケジュール◇

日にち	子どもたちの過ごし方	宿泊先
7/29(水)	福島から大阪に移動	こども館
7/30(木)	大阪YWCA子どもミニスクールに参加	ホストファミリー宅
7/31(金)	大阪観光 天王寺動物園&通天閣ツアー	
8/1(土)	大阪YWCAこども部主催夏キャンプ	キャンプ場
8/2(日)	「びわ湖王国～湖に眠る秘宝～」に参加	
8/3(月)	場所：京都 YMCA サバエ教育キャンプ場（滋賀県）	ホストファミリー宅
8/4(火)	大阪から福島に移動	—

7/30(木)

大阪到着の翌日は梅田会館へ移動、「子どもミニスクール」に大阪の子どもたちと参加。小学校高学年と低学年の2グループに分かれて、交互に「各自の夏休みの宿題タイム」には持ってきた宿題をやり、「たのしい社会科講座」ではしっかり現代史と地理をお勉強。合間にはおやつを手作り、おやつはクレープ、材料を混ぜて形良く薄う～く焼く、果物をカットする、生クリームをしっかりと泡立てる、と全行程を分担。お昼ごはん休憩の後には、理科の時間、簡単なLEDストラップを全学年一緒に工作。6年生のお兄さんお姉さんにはちょっと簡単過ぎたみたい。最後はクレープをみんなで食べて歓談、終了。本当は外で遊びたかったかも。



7/31(金)

午前には今年創立100周年の天王寺動物園に行きました。ホッキョクグマの親子はじめ、動物たちもメンバーたちも暑さで少々バテぎみでしたが、自分たちでどう回るか、何を見るか色々工夫して考えました。たまたまあった業界イベントで、発砲スチロールにまつわるクイズにも挑戦しました。

昼食は串カツ。二度漬け禁止のルールもきちんと守り、キャベツももりもり食べました。

午後は通天閣。往路駅から動物園の道中にあちこちにいたビリケンさんに興味津々でしたが、ここでは本家本元のビリケンさんにご対面。足の裏を触って幸運を祈りました。あべのハルカス、大阪城、午前中に行った動物園、大阪の街並みを一望しました。一番テンションがあがったのはお土産コーナー！何階にもまたがる誘惑の数々に頭を悩ませながらも、楽しく買い物をしていました。



8/1（土）～8/3（月）

夏キャンプ「びわ湖王国（キングダム）～湖に眠る秘宝～」

大阪の子どもたちと一緒に、2泊3日の夏キャンプに参加しました。行先は琵琶湖のほとりにある京都YMCAサバエ教育キャンプ場です。



琵琶湖では、自由に泳いだり、畳一枚ほどもあるウレタンマットに乗って水に飛び込んだり、浜で貝殻を拾ったり。3日間思い切り水遊びをしました。さらに、ただ泳ぐだけではなく、びわ湖王国（キングダム）のカーネル王様チームとつつちゃん大臣チームに分かれて、水上合戦（水上運動会）をしました。



沖に浮かぶ旗めがけてダッシュする水上フラッグ、水中綱引き、水中しっぽ取り。みんな水の中で、ポイントを少しでも



多く奪うべく、チームのために頑張りました。

また、2日目の早朝にはカヌーにも乗りました。朝ごはんのサンドイッチを持って、静かな湖面に一斉に漕ぎ出しました。無人の浜に降りたち、みんなで食べた朝ごはんは格別でした。この他にも、キャンプファイヤーや浜での王国（キングダム）の秘宝さがしなどなど。盛りだくさんのプログラムで、3日間めいっぱい遊ぶことができました。



グループごとのキャビンでの生活では、大阪の子どもたちとも仲良くなりました。琵琶湖の自然の中で、普段できないことをたくさんして、思い出満載のキャンプとなりました。

◇参加者のご家族からのメッセージ◇

無事に帰ってきました。

Sさんの煮込みハンバーグが、半端なくおいしかったと、ふたりでリンクしながら話しています。ワガママしてなかったでしょうか？

楽しい1週間を過ごさせて頂きありがとうございました。

また、さらに日焼けして帰ってきました。

思い思いに絵日記などに、精を出しています。

素敵な夏をありがとうございました。



■stand by you vol. 4

2015/10/17(土) 18:00～21:00 会場：雲州堂

ボランティアとして大阪YWCAに長年に関わってくださっているシンセサイザー奏者であり作曲家の熊井健吉さんの協力を得て2012年度から始めたstand by you。4回目を迎える今回もアーティストによる豪華なライブ演奏とわいわいステイなどの大阪YWCAの被災者支援活動の紹介を行い、少しでも物販も行いました。



ライブチケットによる収益はすべて大阪YWCA被災者支援活動にご寄附いただきました。また、CD物販を行っていた西村理恵さんの計らいにより、売上の半分をご寄附いただきました。

熊井さんは「毎年一回は開催したい！」と頼もしい言葉を下さっています。

次回も今から楽しみです。是非お時間があれば足をお運びくださいね。

参加アーティスト：けんきち、クボタ竜次、西村理恵、健吉 寄付額：17,000円

■街頭募金

2016/3/12 (土) 14:00~16:00 於: JR大阪駅南 阪神百貨店西側

参加: 7名 募金達成額: 18,641円

今回は達成額が非常に多く、いつものことですが、感謝感謝です。金額だけではなく、若い方からの募金も多く、例年とは少し違う様子でした。自分から率先してご両親をひっぱってきてくれた兄妹、関心はないかな?と一見思えるような元気な高校生、お金は出せなかったけれど、じっと手持ちボードの写真を見てくれていた幼い兄弟...震災当日の翌日だったため、それまでのメディア露出の記憶が新しかったのも影響している気がしました。何かやりたいけれど、何をしたいかわからないという方が手軽に参加できるのが募金。支援のすそ野を広げるためにも、できるだけ続けていきたいと思いました。

2015年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援活動にご寄付下さった皆様

朝岡千晶、上田康子、川崎明恵、岸田晃子、阪中雅博、白井邦子、

砂子興一郎、西村理恵、深堀潤子、山本悦子、匿名希望

日本基督教団甲東教会エリコの会、日本基督教団核問題連絡会、

大阪YWCA大宮保育園、大阪YWCA千里委員会、千里クリスマス会参加者一同、

大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会

この他、大阪YWCA設置の募金箱にも多数の募金を頂戴しました。ご協力ありがとうございました

◇2015年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援 収支決算◇

収 入		支 出	
助成金	500,000	旅費交通費 参加者・引率移動費等	405,750
寄付金	317,243	プログラム費 キャンプ参加費、食材等	416,118
プログラム収入	45,000	通信運搬費	3,761
前期からの繰り越し	426,805	消耗品費	14,336
		保険料	5,116
		事務局諸経費	323,743
		次期繰り越し	120,224
計	1,289,048	計	1,289,048

※助成金: 公益財団法人日本YWCA

公益財団法人 大阪YWCA

〒530-0026 大阪市北区神山町1-1-2

TEL (06) 6361-0838 FAX (06) 6361-2997

e-mail info@osaka.ywca.or.jp http://osaka.ywca.or.jp/